

## 被表彰団体および個人

## &lt; 「星空の街・あおぞらの街」 全国大会表彰 &gt;

## I 環境大臣賞受賞者

## 1. 団体部門

しずおかけんりついわたみなみこうとうがっこうちがくぶ  
静岡県立磐田南高等学校地学部（静岡県）

光環境を監視するため、年2回の夜空の明るさ調査を継続して実施している。また、平成17年度から浜松市天文協会主催の夜空の明るさ調査にも参加し、磐田市と袋井市の定点観測地点になるなど積極的な取り組みをしている。また、月1回の徹夜観測をはじめ、班ごとに研究テーマを定め研究発表をしたり、地元小学生に対して指導するなど地域にも貢献している。

## 2. 個人部門

みづたに まきひろ  
水谷 雅寛（三重県）

平成10年3月に光害防止委員会というホームページを立ち上げ、独自に光害の普及啓発に努めるとともに、市民向けの観望会などを積極的に企画実施している。また、平成12年4月からは、FMよっかいちにおいて、天文の番組を担当する一方、一般にもスターウォッチングを指導するなど積極的な取り組みをしている。

## II 「星空の街・あおぞらの街」 全国協議会会長賞受賞者

## 1. 団体部門

にちはらてんもんだい  
日原天文台（島根県）

星に関する各種イベント・観測会の実施、「星と森の科学館」での宇宙と地球環境に関する展示、「天文資料館」での星と環境に関する学習、ホームページでの情報発信等、星空のすばらしさを伝えると同時に地球環境の大切さを啓発している。また、地域の光環境を良好に保つための呼びかけなど積極的に取り組んでいる。

にいがたてんもんけんきゅうかい  
新潟天文研究会（新潟県）

定例会を開催し発表・講義・観察を通して会員の情報交換や技術向上に努めている。また、定期的に市民観望会を開催するとともに、写真展及び地元小学校や自治会等での星空観察の指導及び天文講座を通して、星を見る楽しさを紹介するために幅広く活動する一方、開発に伴う光害が郷土の星空への影響についても継続観察を行っている。

## 2. 個人部門

該当者なし